

※英語正式名称変更 *Japan Amateur Astronomers Association*、今後の方針の詳細を追加修正。

■報告■

「天文同好会サミット2010—世界天文年、その先へ ～日本天文愛好者連絡会発足～」

世界天文年を機に形成された天文界の連絡網を2010年6月24日に「日本天文連絡協議会(仮称)」として発足させるにあたり、天文同好会サミットでできた天文愛好者のつながりをさらに活用し、また天文同好会サミット(名称変更予定)を天文愛好者が中心となって開催することができるよう、日本国内の天文愛好者(同好会・個人。天文業界含む。)のゆるやかなネットワークとして「日本天文愛好者連絡会」を発足することが、天文同好会サミット2010(2010年4月17-18日/国立天文台 三鷹キャンパス)にて決まりましたので、ここにご報告いたします。

1. 組織名：日本天文愛好者連絡会 Japan Amateur Astronomers Association (JAAA)

2. 組織の目的

「日本天文連絡協議会(仮称)」の目的に資する日本の天文愛好者(同好会・個人)のゆるやかなネットワーク組織として、共通の目的のために活動し、日本の天文の発展・普及に寄与することを目的とします。

3. 組織の特徴

日本の天文同好会等の団体、個人(同好会等に所属しない個人、同好会等に所属しているが本組織には個人で参画・活動する個人)等が、同じ目的(星を「見たい・見せたい・知りたい・交流したい)」のために自由に参画できるゆるやかなネットワーク組織です。代表と事務局を置く一極集中型ではなく、天文愛好者からの立候補、推薦による「連絡事務担当スタッフ」が連絡体制の中核として全国の天文愛好者への連絡と関連事務を行い、大型イベント等はその都度、実行委員会を組織し、これにあたります。

4. 組織構成(主な連絡事務担当スタッフと役割)

●顧問：渡部潤一(国立天文台准教授)、海部宣男(元国立天文台長、国際天文連合次期会長)

●コンタクトパーソン(連絡事務担当)：藤由嘉昭、守屋紀孝

※組織の管理、イベント等の開催の支援、情報共有・発信等のための管理・ハブとして機能する、組織の中核です。

●コンタクトパーソン(アドバイザーボード/広報担当PR)：大西浩次

※組織のPRにも努めます。

●秘書(セクレタリー/総務事務)：友田哲、山田大輔、鈴木隆之、友田和美

※コンタクトパーソンのサポートをし、連絡網のハブ機能の一端として活動します。

●同好会連絡メーリングリストシステム運用：佐藤幹哉(国立天文台天文情報センター)

5. 今後の方針

1) 基盤となる情報網として「天文同好会連絡メーリングリスト」を用います。天文同好会連絡メーリングリストのほか、ホームページ、電子掲示板などを活用することで情報を共有

し、さらに、マスメディア等の協力により、インターネット以外の情報発信等も図れるような組織と連携体制を目指します。

- 2) 多くの天文愛好者（同好会・個人）に参画してもらうため、未登録の大学等の天文サークル、同好会などに所属していない個人（同好会などに所属していない場合には所属の欄を無所属と記入）にも天文同好会連絡メーリングリストの登録を広報して行きます。
- 3) 年1回の交流のための集会として天文同好会サミット（名称変更予定）を開催します。天文同好会サミットの開催は、1回ごとに名のりをあげた方々を実行委員として実行委員会を組織し、さらに協力者を募るかたちでこれにあたる方向で検討、推進して行きます。
- 4) 1997年10月12日（第30回神奈川大会）に閉幕しました「日本アマチュア天文研究発表大会（通称アマ天）」の後継者（最後のアマ天で指名された全国の天文愛好家）の方々、「星空への招待」に関わられた方々とも連携し、新旧の組織・ネットワークが、今後の天文アマチュア（愛好者・同好会等）の広い連携へとつながることを目指します。
- 5) 組織の運営、情報共有等の方法、その整備、イベント等の開催については、メーリングリスト等で広く意見を募り、数年をかけて基盤整備ができることを目指します。
- 6) 次期天文界を担うアマチュアの育成と組織のバランスのため、今後、未来のコンタクトパーソン候補（最初は秘書として参画）を立候補、推薦により広く募集します。

6. 今後の主な活動

- 1) 2010年度中にギネスに挑戦・一斉観望会を関係機関にも呼びかけ実施します。メキシコの望遠鏡1200台弱の記録を超える望遠鏡1200台以上で全国同時に天体を観察します。（日時や対象天体、連携体制は、今後、協議の予定。）
- 2) 天文同好会サミット（名称変更予定）は、毎年6月から9月に開催するようにします。次回（2011年度）は2011年6月、会場は国立オリンピック記念青少年総合センター（東京・渋谷）での開催を検討します。

→2010年6月4日・2011年の同好会サミット開催日決定。2011年天文同好会サミット

○会場：東京未来大学（東京都足立区千住曙町34-12）

最寄駅 東部伊勢崎線・堀切駅 徒歩3分

<http://www.tokymirai.ac.jp>

○会期：2011年6月25日（土）、26日（日）

※次回の都内開催に積極的に協力したいという実行委員候補希望の方は、天文同好会連絡メーリングリストで立候補くださるか、コンタクトパーソンの藤由氏（2011年実行委員長）までご連絡をいただけますよう、お願いいたします。

7. 問い合わせ・連絡先

コンタクトパーソン（連絡事務担当）：藤由嘉昭

E-mail アドレス tokoro13 あっと gmail.com

※「あっと」を英数半角の「@」にかえてメールをお送り下さい。

※日中は連絡がとりにくいので、メールでお願いさせていただきます。

★参照★

国立天文台 アストロ・トピックス (539)

『天文同好会サミット2010「世界天文年、その先へ」のご案内』

http://www.nao.ac.jp/nao_topics/data/000539.html

★転載自由ですが、■報告■については、一部のみの掲載・転載は不可、文書の改ざんは原則不可です。商業上の利用には別途許可が必要です。また、転載する際には、■参考資料■についてもできるだけあわせて転載・掲載していただけますよう、お願いいたします。

■参考資料■

●連絡事務担当スタッフ（アマチュア天文愛好家）の紹介

<コンタクトパーソン（連絡事務担当）>

藤由嘉昭：東亜天文学会（OAA）東京支部支部長、日本流星研究会会員。現在は高校で流星の電波観測を指導している。

守屋紀孝：元・天文博物館「五島プラネタリウム・星の会」の会員だった有志により発足した「渋谷星の会」の会長。観望会、プラネタリウム遠征など関東近郊で天文普及活動を展開している。★渋谷星の会 http://www.geocities.jp/shibuya_star/

<コンタクトパーソン（アドバイザリーボード／広報担当 PR）>

大西浩次：長野工業高等専門学校教授、日本天文学会、国際天文学連合会員、天文教育普及研究会。重力レンズを中心とした天文学の研究と天文教育普及研究会の日食WG代表として、2012年の金環日食の安全な観察の広報普及に努める。小学校2年の時より天体写真を撮影し始め、現在、大西浩次・星景写真展「時空の地平線」を全国各地で開催中。日本星景写真協会監事、富山天文学会、黒部天文同好会、仙台天文同好会、西はりま天文台友の会、きらきら、やみくも天文同好会ほか会員。

<秘書（総務事務）>

友田 哲：天文生活主宰、星天の会・つくば星の会所属。中学生の頃から鏡面研磨を行い、望遠鏡の改造のみならず望遠鏡製作も行っている。「星空への招待」時代から全国の天文イベントに顔を出し天文替歌の普及に努める天文替歌歴25年の公務員。

山田大輔：徳島大学アストロラブ（天文部）部員。天文を通して地域交流活動に参加。今年は冬の陣実行委員としても活動。

★<http://astrolabe.hp.infoseek.co.jp/>

鈴木隆之：山口大学で宇宙論を研究する大学院生。もともとはアマチュア天文出身で、学生の全国交流の場（冬の陣等）でも活動した。防府市青少年科学館にて天文普及のアルバイトもしている。天文教育普及研究会所属。

友田和美：天文サークルCrescentMoon主宰、天文教育普及研究会・つくば星の会所属。天文雑誌編集、研究機関での研究開発を経て分野横断・府省横断でのテクニカルプロデュース（MOT&研究開発・産学官連携マネジメント）を行っている。学生時代より親子向け観望会、望遠鏡自作講座等も企画し、近年は茨城県南を中心に活動中。

●世界天文年

イタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を夜空に向け、宇宙への扉を開いた1609年から400年の節目の年である2009年を、国際連合、ユネスコ（国連教育科学文化機関）、国際天文学連合は「世界天文年（International Year of Astronomy：略称 IYA）」と決めました。その約1年間の間に、18に及ぶ日本委員会主催企画、2700件以上の公認企画、600万人を超える「星を見ました！」報告や、5千万件のホームページへのアクセスなどがあり、アジアやアフリカ、南米の国々との協働も大きく展開されました。

<世界天文年の目的>

世界中の人々が夜空を見上げ、宇宙の中の地球や人間の存在に思いを馳せ、自分なりの発見をしてもらうこと。

<参加国数>

148の国と地域が参加を表明。（2009年11月6日現在）

<世界天文年公式名称>

英語：International Year of Astronomy 2009（略称：IYA2009）

日本語：世界天文年2009（<http://www.astronomy2009.jp/>）

<世界天文年公式スローガン>

英語：THE UNIVERSE: YOURS TO DISCOVER

日本語：宇宙 … 解き明かすのはあなた

●日本天文連絡協議会（仮称）～世界天文年 2009 の日本委員会からの発生

世界天文年 2009 の主要参加国である日本では、IAU 世界天文年 2009 ワーキンググループ 日本代表である海部宣男氏を委員長とする「世界天文年 (IYA) 2009 日本委員会」を組織し、主要研究組織・研究所・大学をはじめ、生涯学習や教育普及に関連する団体と幅広く協力しながら、世界天文年に向けたさまざまな企画を準備し推進、支援してきました。

この IYA2009 日本委員会に参画するメンバーに、あらたに日本の天文愛好者・同好会の連絡組織（日本天文愛好者連絡会）を加えた日本全体の天文における連絡組織「日本天文連絡協議会（仮称）」が、2010 年 6 月 24 日に、海部宣男氏の呼びかけにより発足の予定です。

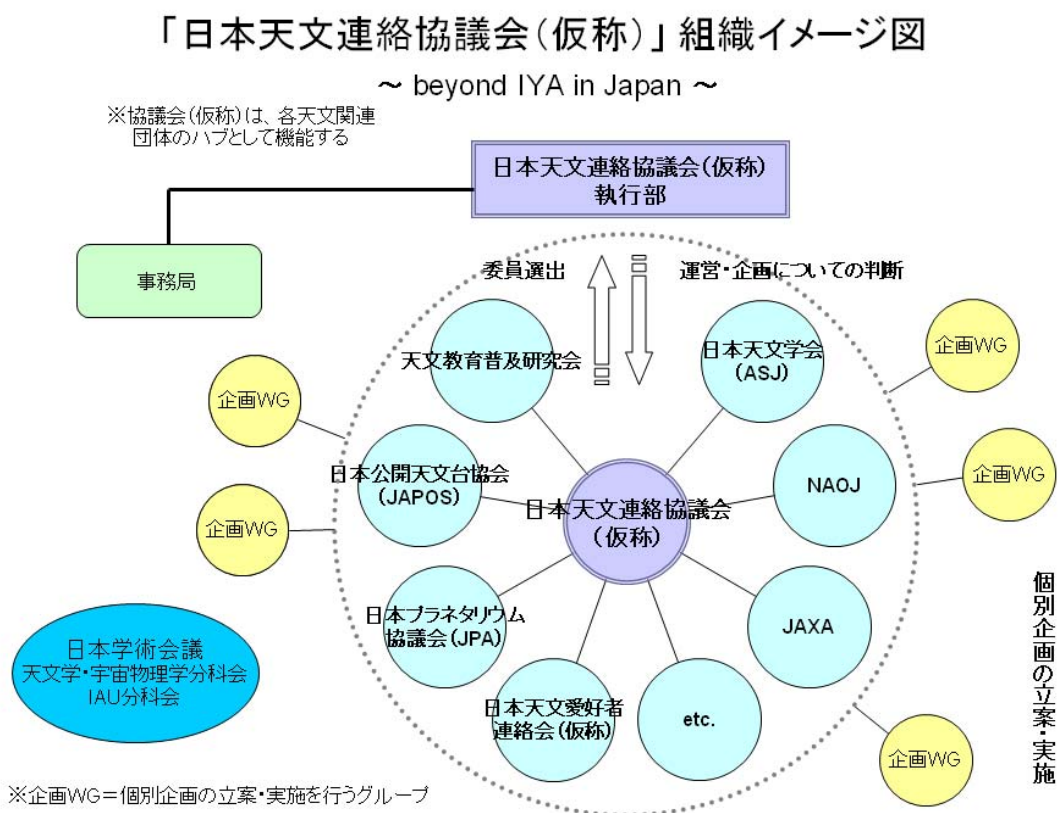
<IYA2009 日本委員会メンバー>

日本天文学会、国立天文台、宇宙航空研究開発機構、天文教育普及研究会、各大学、日本公開天文台協会、天文学振興財団、日本プラネタリアム協議会、日本学術学会、ほか天文関連団体など

※発起人代表、世界天文年 2009 日本委員会 委員長の海部宣男先生による「日本天文連絡協議会（仮称）」に関する声明（2010 年 4 月 16 日）が、世界天文年 2009 のサイトに掲載されております。下記 URL にアクセスの上、ご覧下さい。

- 日本天文連絡協議会（仮称）発足について
<http://www.astronomy2009.jp/ja/beyond/index.html>
- 日本天文連絡協議会（仮称）組織イメージ図
http://www.astronomy2009.jp/ja/beyond/img_BEYOND-JAPAN.png

<組織イメージ図>



※提供：世界天文年 2009 日本委員会

http://www.astronomy2009.jp/ja/beyond/img_BEYOND-JAPAN.png より

●天文同好会連絡メーリングリスト（仮・天文愛好者連絡メーリングリスト）

「天文同好会連絡メーリングリスト」は、「天文同好会サミット 2008」にて提案され、天文同好会（各施設の友の会や観望会等のボランティア組織などを含む、以下「天文同好会」と略）同士の連絡網として、2009年1月より設置されました。世界天文年の1年間に限った運用が予定されていましたが、「天文同好会サミット 2010」で「日本天文愛好者連絡会」が発足したのに伴い、この連絡会のメーリングリストとして、天文同好会に限らず天文愛好者たちの連絡・情報交換の場へと拡大運用されることとなりました。

これまでのメーリングリストの内容は以下の通りです。今後、拡大運用にあたり内容も修正される予定です（名称変更予定：天文愛好者連絡メーリングリスト）。

<天文同好会連絡メーリングリストの内容（これまで）>

- ・ 天文同好会同士の連絡
- ・ 世界天文年 2009 において、天文同好会に関連すると思われる内容のアナウンス
- ・ 一般向け観望会におけるノウハウなどの情報交換
- ・ その他、天文同好会の活動における情報交換

<メーリングリスト詳細・登録先 URL>

<http://www.nao.ac.jp/info/20081206/ML2.html>

■JAAA への参加方法■

「日本天文愛好者連絡会（JAAA：JトリプルA）」は、日本国内で活動し、星が好きで、天文の普及にも協力してもいいと思う個人・団体の方であれば、どなたでも参加できます。JAAA は、同好会や協議会のような組織ではなく、各同好会や内外の協議会・学会等をつなぎ、なかなか伝わらない学会や天文台組織などの情報を、同好会やアマチュア（愛好者）個人に伝え、逆に、同好会やアマチュア個人からの情報や協力依頼などを伝えるという相互連絡・連携のためのゆるやかな組織です。

その事務連絡および付随する雑務やマネジメント、同好会サミット（名称については現在、懸案事項となっています）や全国的なイベントの案内、実行委員会組織形成支援、開催支援などを、今回の同好会サミット（体制構築の話し合いは 100 名弱の天文愛好者等による公聴会的な意見交換でなされました。）で選ばれたメンバー（立候補・推薦→話し合い→承認というプロセスで決定）で担当することになりました。

基本的に、本 ML に参加登録されれば、JAAA にも参加していることになります。星が好きで、天文の普及に興味関心があり、どんなに微力であっても一緒に頑張りたい・・・そんな風に思える方であれば、組織も個人も関係なく、JAAA に参加することができます。「星仲間のゆるやかなネットワーク」として、一人でも多くの方に、日本天文愛好者連絡会（JAAA）、天文愛好者連絡メーリングリストをご紹介頂けますようお願いいたします。

<天文愛好者連絡メーリングリスト（仮）の内容（2010.5月～）>

- ・ 天文愛好者同士の連絡
- ・ 天文愛好者に向けた各種イベント情報などのアナウンス
- ・ 一般向け観望会におけるノウハウなどの情報交換
- ・ その他、天文愛好者が活動するにあたり必要となる情報交換

<メーリングリストの詳細と登録方法について>

<http://www.nao.ac.jp/info/20081206/ML2.html>

★転載自由ですが、一部のみの掲載・転載は不可、文書の改ざんは原則不可です。商業上の利用には別途許可が必要です。また、転載する際には、参考資料についてもできるだけあわせて転載・掲載していただけますよう、お願いいたします。